

松支図書館だより 12月号

平成28年12月1日

熊本県立松橋支援学校図書館発行

霜月から師走へ2016年のカレンダーも残り一枚となりました。ジングルベルやクリスマスソングが聞こえ、店頭にはポインセチアやシクラメンが目立つようになりました。

11月12日、たくさんの来賓の方々や卒業生・関係職員のご臨席のもと、盛大に50周年記念式典が行われました。立派な式典でしたとの声がたくさん寄せられました。たくさんの先生方の暖かい支援や協力があり、大成功したのだと思います。

さて、今年も残り少なくなってきました。このあと楽しみな修学旅行があり、クリスマス、お正月とたのしい行事が続きます。が、二学期最後の月でもあります。学習面、生活面を見直して、やり残しがないようにしましょう。

〰〰〰〰〰 盛会なり！文化委員会！！ 〰〰〰〰〰

11月18日（金）文化委員会がありました。最初に委員長が今日の取組の説明をしました。12月に人権集会があり、それに向けて文化委員会では、人権関係の絵本や一般書などをみなさんに紹介しようということで、委員会のメンバーは、まじめに真剣に取組いろいろな本の紹介が出来ていました。12月の集会にはきっと立派な発表ができると思います。

この委員会活動は、普通科や専門学科の枠を超え全学年での活動となります。そこで一人ひとりが発表したり、他の人の意見を聞いたりしながらお互いの協調性・共同作業が必要になります。この貴重な体験は社会人になっても、さまざまな職場や生活の場で役に立つことでしょう。

〰〰〰〰〰 たくさん読んだのーれ？秋の読書週間 〰〰〰〰〰

読書週間（10月17日～28日）期間中にたくさんの本を読んだ人です。

順位	冊数	名前	所属
1位	31冊		専門学科1年
2位	26冊		中学部2年
3位	17冊		専門学科1年
4位	10冊		専門学科1年
5位	6冊		中学部2年
6位	5冊		小学部2年
6位	5冊		小学部2年

※漫画の本を読んでランクインした人は、高校生らしい本に挑戦して欲しいものです。

“ゆめ水族園”にうっとり！！

11月22日ホットほっとルームで“ゆめ水族園”を鑑賞しました。児童生徒のみなさんはシートの上で、寝っ転がってみていました。ゆったり、ほっこり夢心地でしたね！特別なレースの布でまるで本物のように動く魚、海草、くらげにびっくりです。映像ならではのワクワクする楽しい空間を創り出し、外部環境に接する事の少ない子どもたちにはとても良い企画でした。

☆☆☆ リレーエッセイNO55☆☆☆

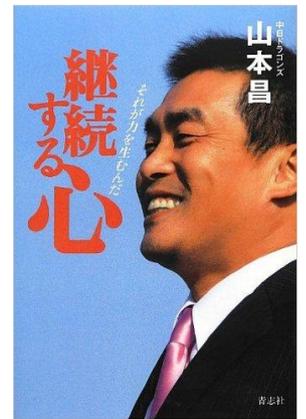
「私の尊敬する人」

1 本を読んだきっかけ

私が本格的に「読書をしてる」と言えるのは、大学生になってからだと思います。それまでは、もっぱらマンガを読んでばかりの小・中・高時代でした。気になる小説を手にしても、中を見てすぐに読むのをやめてしまっていました。ところが、小説を読むきっかけになったのは、マンガでした。「バガボンド：井上雄彦」が好きで読んでいると、もっとこの世界を知りたいと思うようになりました。吉川英治さんの「宮本武蔵」が原作であることは知っていたので、いよいよ初めての長編小説デビューを飾ることになりました。図書館で分厚い本が何巻もずらりと並び、これを全て読めるのだろうかと感じながら読み始めましたが、案の定3巻ほどで挫折してしまいました。その後は、文庫本なら読めると思い、ミステリーや有名な作家さんの本をちょこちょこ読んでいました。そこで、私が最近読んだ本の中から、良かった物を紹介したいと思います。

2 最近読んだ本の紹介

私が最近読んだ本に「継続する心」という本があります。著書は山本昌さん、みなさんご存じの通り元中日ドラゴンズの投手です。山本昌さんは、プロ野球に選手として32年間も現役生活を送り、通算で219勝もの勝ち星を上げた選手です。なんと私が生まれた年に入団され、私の人生と共に野球人生を歩んで来られたと勝手に親近感を抱いています。なぜ私がここまで推すのかと言いますと、大の中日ドラゴンズファンだからです。そんな尊敬してやまない山本昌さんの本が出たということで私は久しぶりに本屋で本を手に取りました。そこには、数多くの名言が書かれていたので、このリレーエッセイを読んでいる皆様にもお裾分けしたいと思います。



名言その①「偶然であれ必然であれ、置かれた環境で、僕は精いっぱい努力をした。今ある境遇を是とし、ひたむきに努力することによって、花が咲き人生は大きく変わっていく。努力して変わらない人生など、決してない。」

感想：戦力外ギリギリの所から這い上がり、32年間もプロとして続けられた人の言葉なので、とても説得力のある言葉だと思いました。」

名言その②「今日より明日、明日より明後日。一步でも、半歩でも向上していくよう努力してきた。チャンスが巡ってきたときのために、今を努力するのだ。しめった薪は燃えない。いつかやってくる種火のために乾燥させておかなければならない。」

感想：山本昌さんが努力の人だということがよくわかります。努力して、数少ないチャンスを物にするための準備に余念がなかったのだと思いました。

この他にも紹介しきれないほどの言葉が私の心に残りました。今の自分に置き換えても、参考にしたいと思うものばかりです。「努力」という言葉が随所に出てきて、私も頑張らなければとさせてくれる本でした。山本昌さんのことを書けと言われれば、まだまだ書き足りないくらいですが、この辺でバトンタッチしたいと思います。ここまで読んでいただきありがとうございます。

